

# 卒論中間発表 「都市公園における公園管理ボランティアの活動がソーシャルキャピタル形成に及ぼす影響に関する研究(仮)」

室蘭工業大学 建設システム工学科 4年 大谷勇輔

## 1. 背景及び目的

近年、ネットワーク・信頼・規範を資本と捉える**ソーシャルキャピタル**(以下SC)が目まぐるしく注目されている

### <既往研究でのSCの定義<sup>※1</sup>>

1.SCとは「ネットワーク、信頼、規範を資本と考えることにより、それらが社会で形成、蓄積されると捉える概念」、また「互恵的集団行動を生み出す社会的ネットワークや役割と、そうした行動に向かわせる規範、価値、態度を包括する概念であり、前者は構造的なもの、後者は認知的なもの」  
2.「グループ内の集団行動を促進して、人的資本の形成を助ける」、「コミュニティ内に結合的、横断的に混在して、コミュニティの持続性を促進する」

※1 藤橋 亜矢子 齊藤 馨(2008):「ソーシャル・キャピタルからみた八王子市長原緑地における参加型緑地管理活動の分析」ランドスケープ研究 研究発表論文集26, 807-810.

SCを形成するためには、地域の交流や人々のつながり、それらを生む**拠点**が重要

### 関連研究

森林を拠点として、NPO等がボランティア活動として実施する参加型の緑地管理活動がSC形成に影響することが把握

都市公園を拠点とした、ボランティアが行う公園管理等の緑地管理活動もSC形成に寄与するのでは？

### 本研究の目的

都市公園における公園管理ボランティアに着目し、その活動による**交流の促進の可能性**及びそれに基づいた**SC形成の可能性**を解明

## 2. 研究の方法

### ①調査対象者の設定

公園管理のボランティア参加者(※現在は、公園の指定管理ボランティアの関係者を想定)

例)財団法人札幌市公園緑化協会「大通公園、中島公園等」

### ②調査対象者の公園管理ボランティアの活動を通じた交流実態等の把握

調査方法: 調査対象者に対するアンケート調査

調査内容: ボランティア活動の実態に関して

(例:活動はどのくらいの頻度で行われているか?)

ボランティア活動の満足度に関して

(例:行っている活動が楽しいと感じているか?)

管理者に関して

(例:管理者が提供するプログラムにもっと参加したいと思うか?)

社会規範に関して (例:環境への意識が高いと思うか?)

交流に関して (例:活動以外でボランティアメンバーとの交流があるか?)

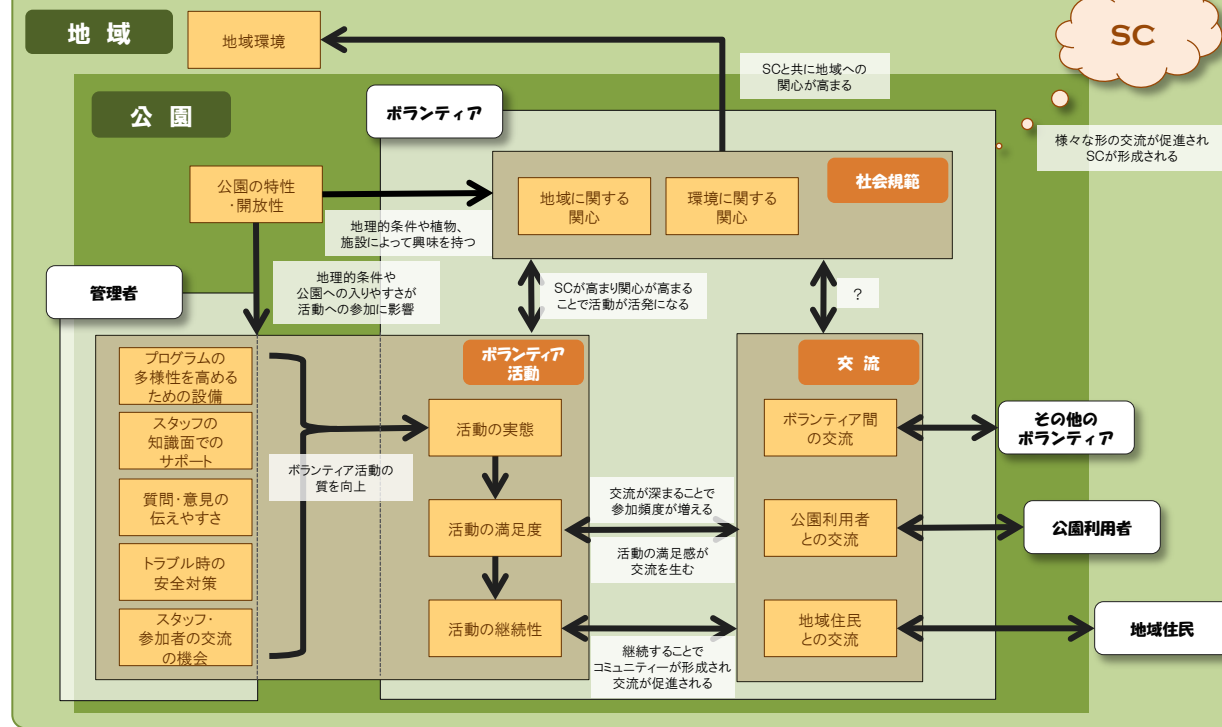
### ③調査対象者の公園管理ボランティア活動がSC形成に及ぼす影響の解明

調査方法: アンケート調査データを用いた多変量解析(因子分析・共分散構造分析等)

調査内容: 交流に関する意識に対する潜在的な要因の解明

## 3. 予想される結果

### 本研究で想定する「公園管理ボランティア活動がSC形成に及ぼす影響」(仮説モデル)



### 本研究での仮説モデルの解析方法

上記モデルを本研究では多変量解析を用いて解明する

①アンケート調査データを用いて満足度等に関して因子分析等を用いて様々な傾向を把握する

表 因子分析結果(イメージ)

無相関の検定	*:5%	*:*:1%	因子1	因子2	因子3	因子4
総合満足度			**		**	**
単相関分析			因子1	因子2	因子3	因子4
総合満足度			0.38	0.245	0.561	0.015

変数	満足度	継続性	交流
行っている活動が楽しいと感じる	0.831	0.443	0.424
もっと活動に参加したいと感じる	0.762	0.873	0.538
活動以外で会いたいと感じる	0.521	0.311	0.886

②仮説モデルを検討するため共分散構造分析を行う

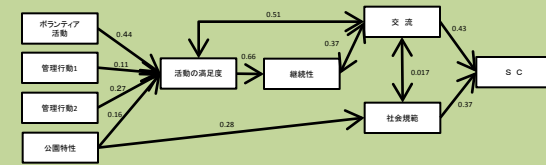


図 共分散構造分析結果イメージ

以上のような解析により公園管理ボランティアが及ぼすSC形成への影響を明らかにする

## 4. 今後の課題

・アンケート項目の検討 ・因子分析/共分散構造分析等の理解 ・ボランティアについての調査